

日本国際理解教育学会特定課題研究  
「SDGs時代における水・気候変動教育を問う」  
公開研究会

日本国際理解教育学会研究・実践委員会では2016年9月から3年間のプロジェクト「国際理解教育における理念と方法を問い直す」を3チームが取り組んでいます。その一つである「SDGs時代における水・気候変動教育を問う」チームがこれからの気候変動教育を考えるために、これまでの関連する研究および実践をふり返るときを設けたいと思います。  
ふるってご参加ください。

～報告内容～

14:00 受付開始

14:30 開会の挨拶&趣旨説明 宇土 泰寛 (椋山女学園大学)  
司会: 林 敏博 (椋山女学園大学)

飯島 真 (松伏町立松伏第二中学校教員)

「地球温暖化と総合的な学習の時間の始まり:環境教育の視点から」

横井 成美 (名古屋市立高針小学校)

「未来の地球人を作りたい:北極での学びを生かして」

樋口 有祐実・長谷川千璃・山口玲奈・吉本真純

(椋山女学園大学教育学部宇土ゼミ代表)

「地域・学校・企業と連携した水・気候変動教育への試み」

質疑応答

# 気候変動と教育を問う

2018年5月26日 土曜日 14:30~17:00

- ・場所: 椋山女学園大学 教育学部棟
- ・参加費: 無料(事前申し込み不要)
- ・問い合わせ先: [研究会前日まで] [soga@hum.nagoya-cu.ac.jp](mailto:soga@hum.nagoya-cu.ac.jp)  
[当日連絡先] 宇土研究室直通 052-781-4495